

第67回卒業証書授与式 式辞

本日は、第六十七回卒業証書授与式にあたり、保護者の皆様とお子様のご卒業をお祝いできますことを心から嬉しく思っています。また、今回は四年ぶりにご来賓の皆様をお迎えすることができました。大田区スポーツ・文化・国際都市部長 井上 隆義（たかよし）様を始めとして、地域連絡協議会の皆様のご臨席を賜り、共に卒業を祝していただきますことを、高いところからではありますが、教職員を代表して厚く御礼申し上げます。

卒業生のみなさん、たった今、中学校生活三年間を修了した証として卒業証書を手渡しました。卒業証書を渡したときに、初めてお互いにマスクを外して向かい合いました。一人ひとりの凛々しく晴れやかな顔を見ると、三年間の努力や苦労など様々なことを乗り越え、これから始まる新生活への第一歩を踏み出そうという力強い思いが感じられました。蓮沼中学校の最上級生として、日常生活や行事、部活動などでたくさんの模範を後輩に見せてくれたことに感謝しています。みなさんが示した行動は確実に在校生に伝わっており、来年度もこの蓮沼中学校をよりよく発展させるために後輩たちが頑張ってくれることと思います。

そんなみなさんは新型コロナウイルスに振り回された三年間でした。入学時の臨時休校から始まり、様々な行事が延期や縮小になったり、授業中の話し合い活動や給食の食方でさえも制限がかけられたりしました。きっと思ったような活動ができなかった部活動もあったと思います。そんなみなさんと私が過ごした学校生活は二年間でしたが、なんとか少しでも学校で笑顔が見られたり、元気な話し声が聞けたりしないかと思案する日々が続きました。そんな中、三年生になったみなさんは、ウィズコロナを考え、自分たちのできることを一つ一つこなしていきました。運動会での元気な応援、修学旅行でははじけた笑顔、四人グループでの積極的な話し合い、蓮中祭での素晴らしい合唱などたくさんの思い出を積み上げ、いつの間にかコロナを忘れてしまうくらい充実した中学校生活になっていました。そのような姿を見られたことが何ととってもうれしかったです。

さて、みなさんの卒業にあたり、将棋士である藤井 聡太さんの話をします。十四歳でプロになり、現在は二十歳ですが、この六年間に全部で八個ある将棋のタイトルのうち竜王・王位・叡王・王将・棋聖といった五個のタイトルを獲得し、残り三個にもこれから挑戦していこうとしている人です。そんな藤井さんが十九歳の時、「史上最年少5冠の偉業を達成した自身は富士山に例えると何合目あたりにいるのか」、と記者から聞かれ「将棋は奥が深く、どこが頂上なのか全く見えない。森林限界の手前というか、まだまだ上の方には行けていない」と自分の現状について表現しました。森林限界というと富士山では五号目付近とされている場所です。これだけの偉業を成し遂げたら、普通はもっと自信に満ち溢れたコメントになるかもしれません。しかし藤井さんは、将棋の奥深さをよく分かっており、けっしておごらず謙遜に答えたと思います。

みなさんの卒業にあたり、卒業文集と色紙に「威風堂々」と書きましたが、それは「態度や雰囲気や威厳が満ちあふれて立派な様子」を表す言葉です。ぜひそのような態度に加えて、藤井 聡太さんのように、どのようなときにもおごらず謙遜に人生を歩んでいってください。そうするときみなさんの人生がますます開けていくことを約束します。

それでは、威風堂々とした卒業生の未来を心から祝して、式辞といたします。

今年度の卒業生進路状況

【3月17日現在の進路状況】

	国公立高校(全日制)	私立高校(全日制)	特別支援学校	定時制他	計
男子	29	16	3	3	51
女子	30	11	3	0	44
計	59	27	6	3	95

夢あり我ら 学びて共に

副校長 久住直子

同窓会のご案内に、本校校歌歌詞のこの部分がタイトルとして載っていました。校歌は、学校創立時に地域の方々が願いを込めて作ったものだと思います。なんとすてきな歌詞でしょう。

3年生の皆さん、3年間机を並べて一緒に勉強したり運動したりした、教室とも、先生とも、友達とも、今日でお別れです。この一週間でも、球技大会で声援を送り合ったり、最後の給食だ~としみじみしたり、お互いに卒業アルバムにメッセージを書き合ったり、卒業式練習を厳粛な雰囲気の中で執り行ったり、その一瞬一瞬がかけがえのない時間でした。

式前日、1・2年生は、先輩たちへの想いを込めて、会場の準備や装飾、掃除活動を一生懸命に取り組んでいました。後輩たちにとっても尊敬するかけがえのない先輩でした。

義務教育卒業となるお子さまの成長を思って、保護者の皆さまの感慨もひとしおでしょう。

先生方は、君たちが卒業した後、空っぽの教室で涙をこぼすかもしれません。

3年生の皆さん、君たちはこの素晴らしい環境で、周囲のたくさんの方々に愛されて、新しい世界へ飛び立っていきます。私たちは、君たちのこれからの人生にエールを送りつづけます。

たくさんの方々のあたたかい笑顔に胸に、一人一人が豊かで充実した人生を切り拓いていってください。

「夢あり我ら 学びてともに 心さやけく 相呼び行かん」

夢を持ち続けて、共に学んだ時間を一生の宝として、心さわやかに、その時々で友達とお互いに想いを語り合いながら、君たちらしく素晴らしい人生を歩いていってください。

ご卒業おめでとうございます。お元気で。

